

日本鐵鋼協會記事

◎理事會

大正八年三月六日(木曜日)午後五時より本會事務所に於て理事會を開く、當日の會議事項は左の如し。

- 一、會誌寄送及交換に關する件
- 一、退會者に關する件
- 一、總會に關する件

當日出席者は左の諸氏なり。

野呂 景義 香村 小録 倭 國一

◎編輯會

大正八年三月六日(木曜日)午後五時より編輯會を開き會誌第五年第三號の原稿を選定せり、當日出席者は左の諸氏なり。

倭 國一 井上 克己 櫻井 爭三 河合 匡

◎入退會者

前號報告後入退會を承諾せられたる會員左の如し。

退會者 (住所及職業)

横濱市横濱船渠會社

准會員 伊藤 孝 忠

神奈川縣川崎在日本鋼管會社

同 萩原 吉二

東京府下品川町南品川宿九四

同 長谷川 仁助

鳥取縣日野郡多里村新屋山

同 石原 榮三郎

入會者 (住所及職業)

東京市小石川區白山前町一 淺野製鐵所員工學士 正會員 今村 甚一
東京市本郷區西片町一〇一ノ一〇號 農商務省臨時產業局技師 同 吉田 永助

東京市赤坂區青山北町四ノ一〇六

東洋製鐵會社專務取締役男爵 同 中島 久萬吉
岐阜縣武儀郡關町 打刃物製造業 同 久保 泉

東京市日本橋區榎正町一〇 日本鋼管會社員 同 伊達 甚太郎
東京府下大井町瀧王寺四四八〇 日本鋼管會社員 同 山 根 宏

鳥取縣西伯郡米子町郭内一五 米子製鋼會社長代理 同 長澤 由之助
八幡市天神町一ノ芳賀方 製鐵所員 准會員 小森 治作

神奈川縣鶴見字潮田淺野製鐵所大東社宅十號 淺野製鐵所員 同 神保 正明
浦賀船渠會社 浦賀船渠會社技手 同 野 中 義 詔

東京市牛込區市ヶ谷富久町二九 上毛育英會高工學生 同 新井 清二郎
東京市日本橋區伊勢町三 貿易商 同 內外化學物產株式會社東京支店

大阪市北西野田大開町八九一 學生 同 村 恒 之助
東京市日本橋區本革屋町五 製鋼所員 同 志 母 谷 武

神戸市脇濱町二丁目 川崎造船所技師工學士 同 三 宅 靜 一
横濱市南太田町二二三三 横濱船渠會社員 同 村 田 源 二郎

浦賀船渠會社 浦賀船渠會社技師 同 濱 田 寛 治
東京砲兵工廠小銃製造所 東京砲兵工廠員陸軍砲兵大尉 同 川 上 壽

轉居 (新住所左の如し)

東京府下代々木山谷九三 三宅川 百太郎
東京市芝區白金三光町八一 山崎 寛二郎

横須賀市海軍工廠造船部長 金子 恭 輔
福岡市外馬出御所ノ内 同 牛田 守之助

東京市芝區二本榎西町二 舞鶴軍港軍艦香取 同 櫻 井 春 郎

岩手縣盛岡市盛岡電氣會社技師 同 鈴 木 武 司
東京市京橋區本材木町三ノ二 同 近 藤 高

南滿洲鞍山製鐵所工務課
 大阪市北區白屋町瀧方
 福岡縣若松市海岸通三ノ二五九
 東京府下大井町字庚塚四七三二
 東京市麴町區上二番町二二本田方
 東京市神田區駿河臺鈴木町一二
 東京府下中澁谷三七八
 神奈川縣鎌倉町長谷神明前數江邸
 東京市本郷區蓬萊町一七六來館方
 福岡縣小倉市古船場町一二四
 八幡市槻田官舎
 神奈川縣橋樹郡御幸村字南河原八〇三
 八幡市前田祇園町一ノ前田小學校横丁
 神戸市兵庫三菱造船所
 大阪府池田町室町八番町一三三
 北海道室蘭日本製鋼所社宅

石尾 茂
 山下 隆次
 東亞通商會社若松出張所
 服部 可一
 鈴木 德藏
 富田 基
 老田 豐吉
 數江 雄二
 西山 彌太郎
 中村 保彦
 長谷川 熊彦
 伊原 太吉
 藤村 哲之
 北上 政吉
 山本 茂雄
 伊勢喜之助

死亡 正會員高橋亦助氏及准會員古藤勇太氏は大正
 八年三月死亡せられたり誠に哀悼の至りなり
 謹て弔す